

# 江南市下水道事業使用料改定案

## パターン別使用料体系について

江南市 下水道課



# 目次

1	新しい下水道使用料体系の考え方	2
2	下水道使用料算定の基本的考え方に基づく 理論と現状を踏まえた使用料体系案	10
3	使用料体系案の比較	15

# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

## 1.1 検討項目ごとの現状及び検討方針 (第2回審議会資料より)

5つの検討項目のうち、企業経営の安定化を図る観点から、基本使用料の割合を高めるほか、少量使用者への配慮から、最低従量単価の見直し等を検討していきます。

主な検討内容	検討項目	現状	算定における検討方針
企業経営の安定化	基本使用料収入と従量使用料収入の割合の設定	<ul style="list-style-type: none"><li>基本使用料の割合を高めることで、排水量に影響されにくく、企業経営を安定的に行いやすくなるとされています。</li><li>本市の基本使用料・従量使用料の割合は下水道使用料算定の基本的考え方を参考に算定した割合と比較して基本使用料の割合は低い水準となっています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><u>経営の安定化を図る観点から、下水道使用料算定の基本的考え方にて算出される使用料対象経費の基本使用料収入と従量使用料収入割合を参考に、基本使用料の割合の見直しを検討します。</u></li></ul>
少量使用者への配慮	基本水量の設定	<ul style="list-style-type: none"><li>下水道使用料算定の基本的考え方ではナショナル・ミニマムとしての排出量を考慮する場合でも、基本水量制ではなく、対象とする水量区分について使用料単価を抑制的に設定した従量使用料を基本使用料に加えた使用料体系とすることも有力な選択肢とされています。</li><li>本市は、基本水量を採用しており、5m<sup>3</sup>以下の少量使用者の負担が相対的に高くなっています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><u>新しい使用料体系では設定しない方向で検討します。</u></li></ul>

# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

## 1.2 検討項目ごとの現状及び検討方針 (第2回審議会資料再掲)

5つの検討項目のうち、企業経営の安定化を図る観点から、基本使用料の割合を高めるほか、少量使用者への配慮から、最低従量単価の見直し等を検討していきます。

主な検討内容	検討項目	現状	算定における検討方針
少量使用者への配慮	従量使用料の逡増度の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道使用料算定の基本的考え方では、需要変動リスクに対応するコストを水量区画別に調整・配賦し、従量使用料単価を算定する方法が示されています。</li> <li>本市は、逡増型従量使用料制度を採用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>下水道使用料算定の基本的考え方</u>で示されている方法に基づいて、<u>水量区画別の従量使用料を設定</u>することを検討します。</li> <li>また、現状より<u>過度な負担増とならないよう少量使用者に配慮し、最低従量単価の見直し</u>を検討します。</li> <li>今後の<u>大口使用者の接続促進のため、最高従量単価の見直し</u>も検討します。</li> </ul>
	従量使用料の水量区画の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道使用料算定の基本的考え方では、水量区画を概ね3から9段階とし、排水需要実態等を考慮して使用料単価を決定することとされています。</li> <li>本市は、逡増型従量使用料制度を採用しており、水量区画は7段階で設定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>新しい使用料体系では基本水量を設定しない方針のため、現行の区画より1区画増やす方向</u>で検討します。</li> </ul>
用途別使用料について	用途別使用料の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市では公衆浴場用のみ設定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>現状同様、公衆浴場用のみ設定</u>する方向で検討します。</li> </ul>

# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

## 1.3 前回審議会で提示した使用料体系パターン(第2回審議会資料より)

新使用料体系の検討に際しては、下水道使用料算定の基本的考え方に基づく使用料体系案、  
 ・ 現行体系を基礎とした使用料体系案を検討した上で、と ・ の体系を比較し、急激な負担とならないように  
 配慮した、  
 ・ 理論と現状を踏まえた使用料体系を検討していきます。

第2回審議会における委員の皆様の見解を踏まえ、パターン を中心に検討いたします。

パターン	日本下水道協会が示した「下水道使用料算定の基本的考え方」(平成29年3月)で示されている方法に基づき、使用料の適正化を図った使用料体系案 (使用料適正化:下水道事業者の視点)	パターン	
		算定期間内(R3-R7)の使用料対象経費を使用料収入で賄う	



パターン パターン	現行の使用料体系を基礎として、基本使用料、従量使用料とも一律に同じ割合で改定した場合の使用料体系案 (現行体系を基礎とした使用料体系)	パターン	パターン
		R5年度:135円(税込) R9年度:150円(税込)	R5年度:135円(税抜) R9年度:150円(税抜)



パターン パターン	パターン とパターン ・ を比較して、急激な負担増が生じないように配慮しつつ、経営の安定化を目指した使用料体系案 (急激な負担増が生じない:使用者の視点 企業経営の安定化:下水道事業者の視点)	パターン	パターン
		R5年度:135円(税込) R9年度:150円(税込)	R5年度:135円(税抜) R9年度:150円(税抜)

# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

## 1.4 前回審議会で提示した各パターンの検討項目の考え方(第2回審議会資料より)

検討項目に対する各パターンの考え方は以下の通りです。

検討項目	パターン	パターン	パターン
基本使用料収入と従量使用料収入の割合の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を分解し、費用項目に応じて基本使用料と従量使用料に配賦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>割合は現行と同一 (基本使用料:従量使用料 = 17.9%:82.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営の安定化を図るため基本使用料割合を増加 (基本使用料:従量使用料 = 21.6%:78.4%)</li> </ul>
基本水量の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>算定方法に関する記載はなし</li> <li>基本水量制ではない使用料体系とすることも有力な選択肢と記載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定しない</li> </ul>
従量使用料の逡増度の設定(最低従量単価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水量区画毎の排水需要の変動に基づいて設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0~5m<sup>3</sup>を新たに設定し、最低従量単価を現行より引き下げ</li> <li>既存区画(6m<sup>3</sup>から500m<sup>3</sup>~まで)の従量使用料単価は引き上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>0~5m<sup>3</sup>を新たに設定し、最低従量単価を現行より引き下げ</li> <li>既存区画(6m<sup>3</sup>から500m<sup>3</sup>までの逡増度は現行とほぼ同一</li> </ul>
従量使用料の水量区画の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>3~9程度の区分が一般的と記載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本水量を設定せず、0~5m<sup>3</sup>を新たに設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本水量を設定せず、0~5m<sup>3</sup>を新たに設定</li> </ul>
用途別使用料の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定に関する記載なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行と同一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行と同一</li> </ul>

# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

## 1.5 第3回審議会で新たに提示する使用料体系パターン

今回審議会で提示する使用料体系案は、前回審議会で提示したパターン A及びパターン Bをベースに前回審議会での意見を踏まえ、新たに3パターンを作成しています。

新パターン		急激な負担増が生じないよう配慮しつつ、経営の安定化を目指した使用料体系案 急激な負担増が生じない：使用者の視点 企業経営の安定化：下水道事業者の視点	
A	B	C	D
R5年度:135円(税抜) R9年度:150円(税抜)	R5年度:123円(税抜) R9年度:150円(税抜)	R5年度:135円(税抜) R9年度:150円(税抜)	
<p>前回提示したパターン</p> <p>(最高従量単価の改定率を相対的に低くし、大口使用者へ配慮した体系)</p>	<p>接続への影響と急激な負担増へ配慮し、<b>R5年度の改定率を抑えた体系</b></p> <p>(R5年度は税抜123円の改定とし、市民負担を意識した体系)</p>	<p>水量区画ごとの改定率を同水準とした体系</p> <p>(特定の使用者への配慮を意識しない体系)</p>	<p>最高従量単価の改定率を相対的に低くするが、<b>パターンAより大口使用者の負担を高くした体系</b></p> <p>(大口使用者への配慮を控えめにし、他の使用者へ配慮した体系)</p>



# 1 新しい下水道使用料体系の考え方

## 1.6 検討項目に対する各パターンの考え方

検討項目に対する各パターンの考え方は以下の通りです。

検討項目		新パターン			
		A	B	C	D
○使用料金 単価	R5	135円(税抜)	<b>123円(税抜)</b>		135円(税抜)
	R9	150円(税抜)			
基本使用料収入 と従量使用料収入 の割合の設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 経営の安定化を図るため基本使用料割合を増加 (基本使用料:従量使用料 = <b>21.6%:78.4%</b>)</li> </ul>			
基本水量の設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定しない</li> </ul>			
従量使用料の 逓増度の設定 (最低従量単価)		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 0~5<sup>3</sup>を新たに設定し、最低従量単価を現行より引き下げ</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>既存区画 (6<sup>3</sup>から500<sup>3</sup>まで)の逓増度は現行とほぼ同一</b></li> <li>• <b>501<sup>3</sup>~の区画は改定率を抑制</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>既存全区画 (6<sup>3</sup>から501<sup>3</sup>~)の逓増度は現行とほぼ同一</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>既存全区画 (6<sup>3</sup>から501<sup>3</sup>~)の逓増度は現行とほぼ同一</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>既存区画 (6<sup>3</sup>から500<sup>3</sup>まで)の逓増度は現行とほぼ同一</b></li> <li>• <b>501<sup>3</sup>~の区画は改定率をやや抑制</b></li> </ul>
従量使用料の 水量区画の設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本水量を設定せず、0~5<sup>3</sup>を新たに設定</li> </ul>			
用途別使用料の 設定		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 現行と同一</li> </ul>			

# MEMO

## **2 下水道使用料算定の基本的考え方に基づく 理論と現状を踏まえた使用料体系案**

## 2 理論と現状を踏まえた使用料体系案(新パターンA)

### 2.1 下水道使用料体系 (第2回審議会資料パターン)

#### 使用料体系の比較

【現行体系】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )	
一般汚水	425.0 円 (~ 5m <sup>3</sup> )	1 ~ 5m <sup>3</sup>	0.0 円
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	85.0 円
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	95.0 円
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	120.0 円
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	145.0 円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	160.0 円
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	190.0 円
浴場汚水	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	215.0 円
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円



【R5年度：135円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 1
一般汚水	610.0 円 (+43.5%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	21.0 円	-
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	100.0 円	+17.6%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	113.0 円	+18.9%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	141.0 円	+17.5%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	171.0 円	+17.9%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	189.0 円	+18.1%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	224.0 円	+17.9%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	235.0 円	+9.3%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

1：現行比

【R9年度：150円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+14.8%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	26.0 円	+23.8%
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	111.0 円	+11.0%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	124.0 円	+9.7%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	157.0 円	+11.3%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	190.0 円	+11.1%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	210.0 円	+11.1%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	249.0 円	+11.2%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	251.0 円	+6.8%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

2：R5年比

• 501m<sup>3</sup> ~ の区画のみ改定率を下げ、大口使用者へ配慮している

## 2 理論と現状を踏まえた使用料体系案(新パターンB)

### 2.2 下水道使用料体系 (R5の改定率を抑えた体系)

#### 使用料体系の比較

【現行体系】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )	
一般汚水	425.0 円 (~ 5m <sup>3</sup> )	1 ~ 5m <sup>3</sup>	0.0 円
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	85.0 円
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	95.0 円
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	120.0 円
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	145.0 円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	160.0 円
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	190.0 円
浴場汚水	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	215.0 円
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円



【R5年度：123円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 1
一般汚水	556.0 円 (+30.8%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	24.0 円	-
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	89.0 円	+4.7%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	101.0 円	+6.3%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	126.0 円	+5.0%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	152.0 円	+4.8%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	168.0 円	+5.0%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	200.0 円	+5.3%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	227.0 円	+5.6%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

1：現行比

【R9年度：150円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+25.9%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	29.0 円	+20.8%
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	109.0 円	+22.5%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	122.0 円	+20.8%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	154.0 円	+22.2%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	186.0 円	+22.4%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	206.0 円	+22.6%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	244.0 円	+22.0%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	276.0 円	+21.6%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

2：R5年比

• 既存全区画(6m<sup>3</sup>から501m<sup>3</sup>~)の  
逡増度を現行とほぼ同一にしている  
ため、改定率はほぼ同水準

## 2 理論と現状を踏まえた使用料体系案(新パターンC)

### 2.3 下水道使用料体系

#### 使用料体系の比較

【現行体系】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )	
一般汚水	425.0 円 (~ 5m <sup>3</sup> )	1 ~ 5m <sup>3</sup>	0.0 円
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	85.0 円
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	95.0 円
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	120.0 円
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	145.0 円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	160.0 円
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	190.0 円
浴場汚水	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	215.0 円
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円



【R5年度：135円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 1
一般汚水	610.0 円 (+43.5%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	24.0 円	-
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	98.0 円	+15.3%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	111.0 円	+16.8%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	139.0 円	+15.8%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	168.0 円	+15.9%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	186.0 円	+16.3%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	221.0 円	+16.3%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	250.0 円	+16.3%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

1：現行比

【R9年度：150円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+14.8%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	29.0 円	+20.8%
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	109.0 円	+11.2%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	122.0 円	+9.9%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	154.0 円	+10.8%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	186.0 円	+10.7%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	206.0 円	+10.8%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	244.0 円	+10.4%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	276.0 円	+10.4%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

2：R5年比

• 既存全区画(6m<sup>3</sup>から501m<sup>3</sup>~)の  
逡増度を現行とほぼ同一にしている  
ため、改定率はほぼ同水準

## 2 理論と現状を踏まえた使用料体系案(新パターンD)

### 2.4 下水道使用料体系

#### 使用料体系の比較

【現行体系】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )	
一般汚水	425.0 円 (~ 5m <sup>3</sup> )	1 ~ 5m <sup>3</sup>	0.0 円
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	85.0 円
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	95.0 円
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	120.0 円
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	145.0 円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	160.0 円
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	190.0 円
浴場汚水	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	215.0 円
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円



【R5年度：135円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 1
一般汚水	610.0 円 (+43.5%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	24.0 円	-
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	99.0 円	+16.5%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	111.0 円	+16.8%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	140.0 円	+16.7%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	169.0 円	+16.6%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	186.0 円	+16.3%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	222.0 円	+16.8%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	240.0 円	+11.6%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

1：現行比

• パターンB・Cよりも最低従量単価を低く設定している

• 501m<sup>3</sup> ~ の区画のみ改定率を下げ、大口使用者へ配慮している

【R9年度：150円(税抜)】

(1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/ m <sup>3</sup> )		改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+14.8%)	1 ~ 5m <sup>3</sup>	28.0 円	+16.7%
		6 ~ 10m <sup>3</sup>	110.0 円	+11.1%
		11 ~ 20m <sup>3</sup>	123.0 円	+10.8%
		21 ~ 30m <sup>3</sup>	155.0 円	+10.7%
		31 ~ 50m <sup>3</sup>	187.0 円	+10.7%
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	207.0 円	+11.3%
		101 ~ 500m <sup>3</sup>	245.0 円	+10.4%
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~ 100m <sup>3</sup> )	501m <sup>3</sup> ~	267.0 円	+11.3%
		101m <sup>3</sup> ~	47.0 円	-

2：R5年比

### **3 使用料体系案の比較**



### 3 使用料体系案の比較

#### 3.1 各使用料体系案の概要

各使用料体系案の概要は以下の通りです。各体系の特徴の比較を次項以降で行います。

(1使用月につき/税抜)

概要1		改定額	改定率 <sup>1</sup>	基本使用料 収入割合	基本使用料	従量使用料 (最高・最低単価)	
現行	現行使用料体系	現行 108円	—	17.9%	425円	最高:215円 最低: 85円	
新 パターン	<p>経営の安定化を図る一方、使用者への急激な負担増加を配慮して設定</p> <p>・基本使用料の改定幅を大きくし、基本使用料収入割合を21.6%に設定</p> <p>・従量使用料は原則、現行の単価比率を基に設定しているが、<b>最高従量単価(501m<sup>3</sup>~)は少し改定率を抑えている</b></p> <p style="color: red;">A・Dパターン</p> <p>・従量使用料は、<b>現行の単価比率を設定</b></p> <p style="color: red;">B・Cパターン</p>	A	R5 135円	18.7%	21.6%	610円	最高:235円 最低: 21円
			R9 150円	11.7%		700円	最高:251円 最低: 26円
		B	R5 123円	8.1%		556円	最高:227円 最低: 24円
			R9 150円	22.5%		700円	最高:276円 最低: 29円
		C	R5 135円	18.7%		610円	最高:250円 最低: 24円
			R9 150円	11.7%		700円	最高:276円 最低: 29円
		D	R5 135円	18.7%		610円	最高:240円 最低: 24円
			R9 150円	11.7%		700円	最高:267円 最低: 28円

1 R5改定率は、R2の体系で試算したR5の成行数値と比較  
R9改定率は、R5の体系で試算したR9の成行数値と比較

### 3 使用料体系案の比較

#### 3.2 各使用料体系案(参考:パターン別一覧)

現行	【現行体系】 (1使用月につき/税抜)	
	用途	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )
一般汚水	基本使用料 425.0 円 (~5m <sup>3</sup> )	1~5m <sup>3</sup> 0.0 円
		6~10m <sup>3</sup> 85.0 円
		11~20m <sup>3</sup> 95.0 円
		21~30m <sup>3</sup> 120.0 円
		31~50m <sup>3</sup> 145.0 円
		51~100m <sup>3</sup> 160.0 円
		101~500m <sup>3</sup> 190.0 円
501m <sup>3</sup> ~ 215.0 円		
浴場汚水	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~ 47.0 円

パターンA	【R5年度: 135円(税抜)】 (1使用月につき/税抜)			
	用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 1
一般汚水	610.0 円 (+43.5%)	1~5m <sup>3</sup> 21.0 円	-	
		6~10m <sup>3</sup> 100.0 円	+17.6%	
		11~20m <sup>3</sup> 113.0 円	+18.9%	
		21~30m <sup>3</sup> 141.0 円	+17.5%	
		31~50m <sup>3</sup> 171.0 円	+17.9%	
		51~100m <sup>3</sup> 189.0 円	+18.1%	
		101~500m <sup>3</sup> 224.0 円	+17.9%	
501m <sup>3</sup> ~ 235.0 円	+9.3%			
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~ 47.0 円	-	

1: 現行比

パターンB	【R5年度: 123円(税抜)】 (1使用月につき/税抜)			
	用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 1
一般汚水	556.0 円 (+30.8%)	1~5m <sup>3</sup> 24.0 円	-	
		6~10m <sup>3</sup> 89.0 円	+4.7%	
		11~20m <sup>3</sup> 101.0 円	+6.3%	
		21~30m <sup>3</sup> 126.0 円	+5.0%	
		31~50m <sup>3</sup> 152.0 円	+4.8%	
		51~100m <sup>3</sup> 168.0 円	+5.0%	
		101~500m <sup>3</sup> 200.0 円	+5.3%	
501m <sup>3</sup> ~ 227.0 円	+5.6%			
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~ 47.0 円	-	

1: 現行比

	【R9年度: 150円(税抜)】 (1使用月につき/税抜)			
	用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+14.8%)	1~5m <sup>3</sup> 26.0 円	+23.8%	
		6~10m <sup>3</sup> 111.0 円	+11.0%	
		11~20m <sup>3</sup> 124.0 円	+9.7%	
		21~30m <sup>3</sup> 157.0 円	+11.3%	
		31~50m <sup>3</sup> 190.0 円	+11.1%	
		51~100m <sup>3</sup> 210.0 円	+11.1%	
		101~500m <sup>3</sup> 249.0 円	+11.2%	
501m <sup>3</sup> ~ 251.0 円	+6.8%			
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~ 47.0 円	-	

2: R5年比

	【R9年度: 150円(税抜)】 (1使用月につき/税抜)			
	用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+25.9%)	1~5m <sup>3</sup> 29.0 円	+20.8%	
		6~10m <sup>3</sup> 109.0 円	+22.5%	
		11~20m <sup>3</sup> 122.0 円	+20.8%	
		21~30m <sup>3</sup> 154.0 円	+22.2%	
		31~50m <sup>3</sup> 186.0 円	+22.4%	
		51~100m <sup>3</sup> 206.0 円	+22.6%	
		101~500m <sup>3</sup> 244.0 円	+22.0%	
501m <sup>3</sup> ~ 276.0 円	+21.6%			
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~ 47.0 円	-	

2: R5年比

### 3 使用料体系案の比較

#### 3.2 各使用料体系案(参考:パターン別一覧)

【R5年度：135円（税抜）】 (1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 1
一般汚水	610.0 円 (+43.5%)	1~5m <sup>3</sup>	24.0 円
		6~10m <sup>3</sup>	98.0 円
		11~20m <sup>3</sup>	111.0 円
		21~30m <sup>3</sup>	139.0 円
		31~50m <sup>3</sup>	168.0 円
		51~100m <sup>3</sup>	186.0 円
		101~500m <sup>3</sup>	221.0 円
501m <sup>3</sup> ~	250.0 円		
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~	47.0 円

1：現行比

【R9年度：150円（税抜）】 (1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+14.8%)	1~5m <sup>3</sup>	29.0 円
		6~10m <sup>3</sup>	109.0 円
		11~20m <sup>3</sup>	122.0 円
		21~30m <sup>3</sup>	154.0 円
		31~50m <sup>3</sup>	186.0 円
		51~100m <sup>3</sup>	206.0 円
		101~500m <sup>3</sup>	244.0 円
501m <sup>3</sup> ~	276.0 円		
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~	47.0 円

2：R5年比

【R5年度：135円（税抜）】 (1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 1
一般汚水	610.0 円 (+43.5%)	1~5m <sup>3</sup>	24.0 円
		6~10m <sup>3</sup>	99.0 円
		11~20m <sup>3</sup>	111.0 円
		21~30m <sup>3</sup>	140.0 円
		31~50m <sup>3</sup>	169.0 円
		51~100m <sup>3</sup>	186.0 円
		101~500m <sup>3</sup>	222.0 円
501m <sup>3</sup> ~	240.0 円		
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~	47.0 円

1：現行比

【R9年度：150円（税抜）】 (1使用月につき/税抜)

用途	基本使用料	従量使用料単価(/m <sup>3</sup> )	改定率 2
一般汚水	700.0 円 (+14.8%)	1~5m <sup>3</sup>	28.0 円
		6~10m <sup>3</sup>	110.0 円
		11~20m <sup>3</sup>	123.0 円
		21~30m <sup>3</sup>	155.0 円
		31~50m <sup>3</sup>	187.0 円
		51~100m <sup>3</sup>	207.0 円
		101~500m <sup>3</sup>	245.0 円
501m <sup>3</sup> ~	267.0 円		
浴場汚水 (修正なし)	4,250.0 円 (~100m <sup>3</sup> )	101m <sup>3</sup> ~	47.0 円

2：R5年比

### 3 使用料体系案の比較

#### 3.3 各使用料体系案の他団体比較

基本水量を設定している他団体は多いですが、近隣で直近に改定している2団体は廃止しており、今後は設定しない傾向であると推察されます。また、春日井市の令和4年4月以降における基本使用料は令和3年3月以前と比較すると、30%程度値上げしています。

(単位：円 1使用月につき/税抜)

団体名	補足説明 【使用料単価(税抜)】	基本 使用料	基本水量	従量料金						
				0～5m <sup>3</sup>	6～10m <sup>3</sup>	11～20m <sup>3</sup>	21～25m <sup>3</sup>	26～30m <sup>3</sup>	31～40m <sup>3</sup>	41～50m <sup>3</sup>
江南市										
現行料金	【R1年度：111円】	425	～5m <sup>3</sup>	0	85	95	120	145	160	
A	【R5年度：135円】	610	なし	21	100	113	141	171	189	
	【R9年度：150円】	700	なし	26	111	124	157	190	210	
B	【R5年度：123円】	556	なし	24	89	101	126	152	168	
	【R9年度：150円】	700	なし	29	109	122	154	186	206	
C	【R5年度：135円】	610	なし	24	98	111	139	168	186	
	【R9年度：150円】	700	なし	29	109	122	154	186	206	
D	【R5年度：135円】	610	なし	24	99	111	140	169	186	
	【R9年度：150円】	700	なし	28	110	123	155	187	207	
犬山市	【R1年度：104円】	550	～5m <sup>3</sup>	0	44	84	104	129		
岩倉市	【R1年度：85円】	428	～5m <sup>3</sup>	0	60	78	97	117		
大口町	【R1年度：123円】	714	～10m <sup>3</sup>	0		104	119	128	133	
扶桑町	【R1年度：101円】	714	～10m <sup>3</sup>	0		104	119	128	133	
長久手市	【R1年度：139円】	1,000	～10m <sup>3</sup>	0			100	110	130	
みよし市	【R1年度：110円】	900	～10m <sup>3</sup>	0			90	100	120	
武豊町	【R1年度：103円】	800	～10m <sup>3</sup>	0		90	105	130		
東郷町	【R1年度：104円】	800	なし	10		90	100	120	140	180 2
一宮市	<～H29.9月>	596	～10m <sup>3</sup>	0		101		111		115
	<H29.10月～>	596	なし	8		116		127		132
春日井市	<～R3.3月>	850	～10m <sup>3</sup>	0		90	100	105	115	120
	<R3.3月～R4.3月>	950	なし	10		120	130	140	150	160
	<R4.4月～>	1,100	なし	25		130	140	150	160	170

出典：他団体数値は各市HPや条例を参照

1 類似団体の使用料単価は「第1回審議会資料」より、消費税を調整して試算

2 81～100m<sup>3</sup>は200円

小数点以下は四捨五入

### 3 使用料体系案の比較

#### 3.3 各使用料体系案の他団体比較

直近に料金改定を行った春日井市と比較すると、全体的に同水準であると考えられます。

(単位：円 2使用月につき/税込)

団体名	補足説明 1 【使用料単価(税抜)】	基本 使用料	使用水量							
			10m <sup>3</sup>	20m <sup>3</sup>	30m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	50m <sup>3</sup>	60m <sup>3</sup>	70m <sup>3</sup>	80m <sup>3</sup>
<b>江南市</b>										
現行料金	【R1年度：111円】	934	934	1,870	2,914	3,960	5,280	6,600	8,194	9,790
A	【R5年度：135円】	1,342	1,573	2,673	3,916	5,159	6,710	8,261	10,142	12,023
	【R9年度：150円】	1,540	1,826	3,047	4,411	5,775	7,502	9,229	11,319	13,409
B	【R5年度：123円】	1,223	1,487	2,466	3,577	4,688	6,074	7,460	9,132	10,804
	【R9年度：150円】	1,540	1,859	3,058	4,400	5,742	7,436	9,130	11,176	13,222
C	【R5年度：135円】	1,342	1,606	2,684	3,905	5,126	6,655	8,184	10,032	11,880
	【R9年度：150円】	1,540	1,859	3,058	4,400	5,742	7,436	9,130	11,176	13,222
D	【R5年度：135円】	1,342	1,606	2,695	3,916	5,137	6,677	8,217	10,076	11,935
	【R9年度：150円】	1,540	1,848	3,058	4,411	5,764	7,469	9,174	11,231	13,288
犬山市	【R1年度：104円】	1,210	1,210	1,694	2,618	3,542	4,686	5,830	7,249	8,668
岩倉市	【R1年度：85円】	940	940	1,600	2,450	3,310	4,380	5,450	6,510	7,580
大口町	【R1年度：123円】	1,570	1,570	1,570	2,714	3,858	5,167	6,476	7,884	9,292
扶桑町	【R1年度：101円】	1,570	1,570	1,570	2,714	3,858	5,167	6,476	7,884	9,292
長久手市	【R1年度：139円】	2,200	2,200	2,200	3,300	4,400	5,500	6,600	7,810	9,020
みよし市	【R1年度：110円】	1,980	1,980	1,980	2,970	3,960	4,950	5,940	7,040	8,140
武豊町	【R1年度：103円】	1,760	1,760	1,760	2,750	3,740	4,895	6,050	7,205	8,360
東郷町	【R1年度：104円】	1,760	1,870	1,980	2,970	3,960	5,060	6,160	7,480	8,800
一宮市	<～H29.9月>	1,310	1,310	1,310	2,422	3,532	4,644	5,864	7,086	8,306
	<H29.10月～>	1,310	1,398	1,486	2,762	4,038	5,314	6,712	8,108	9,506
春日井市	<～R3.3月>	1,870	1,870	1,870	2,860	3,850	4,950	6,050	7,205	8,360
	<R3.3月～R4.3月>	2,090	2,200	2,310	3,630	4,950	6,380	7,810	9,350	10,890
	<R4.4月～>	2,420	2,694	2,970	4,400	5,830	7,370	8,910	10,560	12,210

出典：他団体数値は各市HPや条例を参照

1 類似団体の使用料単価は「第1回審議会資料」より、消費税を調整して試算

### 3 使用料体系案の比較

#### 3.4 使用者への影響(少量使用者・大口使用者)

少量使用について大きな差は生じないが、大口使用はDが比較的影響が小さくなっています。

(少量使用者)

(単位：円 1使用月につき / 税抜)

使用水量	現行料金	パターンA		パターンB		パターンC		パターンD	
		135円 (税抜)	150円 (税抜)	123円 (税抜)	150円 (税抜)	135円 (税抜)	150円 (税抜)	135円 (税抜)	150円 (税抜)
5m <sup>3</sup>	425	715 (+290)	830 (+405)	676 (+251)	845 (+420)	730 (+305)	845 (+420)	730 (+305)	840 (+415)
10m <sup>3</sup>	850	1,215 (+365)	1,385 (+535)	1,121 (+271)	1,390 (+540)	1,220 (+370)	1,390 (+540)	1,225 (+375)	1,390 (+540)
20m <sup>3</sup>	1,800	2,345 (+545)	2,625 (+825)	2,131 (+331)	2,610 (+810)	2,330 (+530)	2,610 (+810)	2,335 (+535)	2,620 (+820)

(大口使用者)

(単位：円 1使用月につき / 税抜)

使用水量	現行料金	パターンA		パターンB		パターンC		パターンD	
		135円 (税抜)	150円 (税抜)	123円 (税抜)	150円 (税抜)	135円 (税抜)	150円 (税抜)	135円 (税抜)	150円 (税抜)
200m <sup>3</sup>	32,900	39,025 (+6,125)	43,395 (+10,495)	34,831 (+1,931)	42,570 (+9,670)	38,480 (+5,580)	42,570 (+9,670)	38,615 (+5,715)	42,760 (+9,860)
500m <sup>3</sup>	89,900	106,225 (+16,325)	118,095 (+28,195)	94,831 (+4,931)	115,770 (+25,870)	104,780 (+14,880)	115,770 (+25,870)	105,215 (+15,315)	116,260 (+26,360)
1,000m <sup>3</sup>	197,400	223,725 (+26,325)	243,595 (+46,195)	208,331 (+10,931)	253,770 (+56,370)	229,780 (+32,380)	253,770 (+56,370)	225,215 (+27,815)	249,760 (+52,360)

# MEMO